

～人がまちをつくる～
Kanmin's Dream
(官民's ドリーム)

メンバー

環境保全課
広報課
こども育成課
開発建設課
警防対策課

小島青木
青木林
小岡崎
岡七海

正之治
賢由香
豊廣人

(代表)

指導職員
アドバイザー

カルチャーパーク課長
秘書課

齋藤
大嶋

雄一
崇志

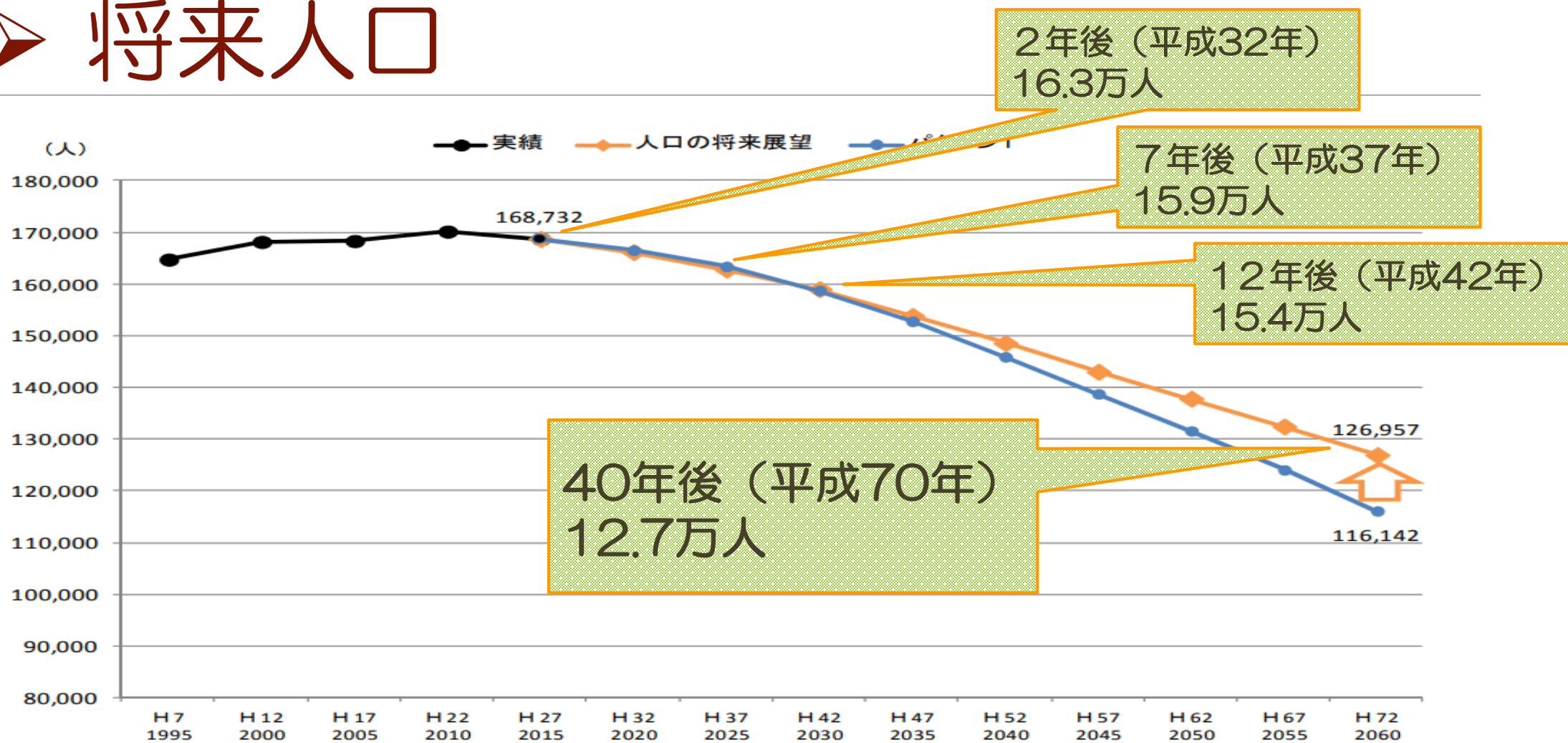
目次

- 1 はじめに
- 2 現状と課題
- 3 先進事例紹介
- 4 政策提案
- 5 おわりに

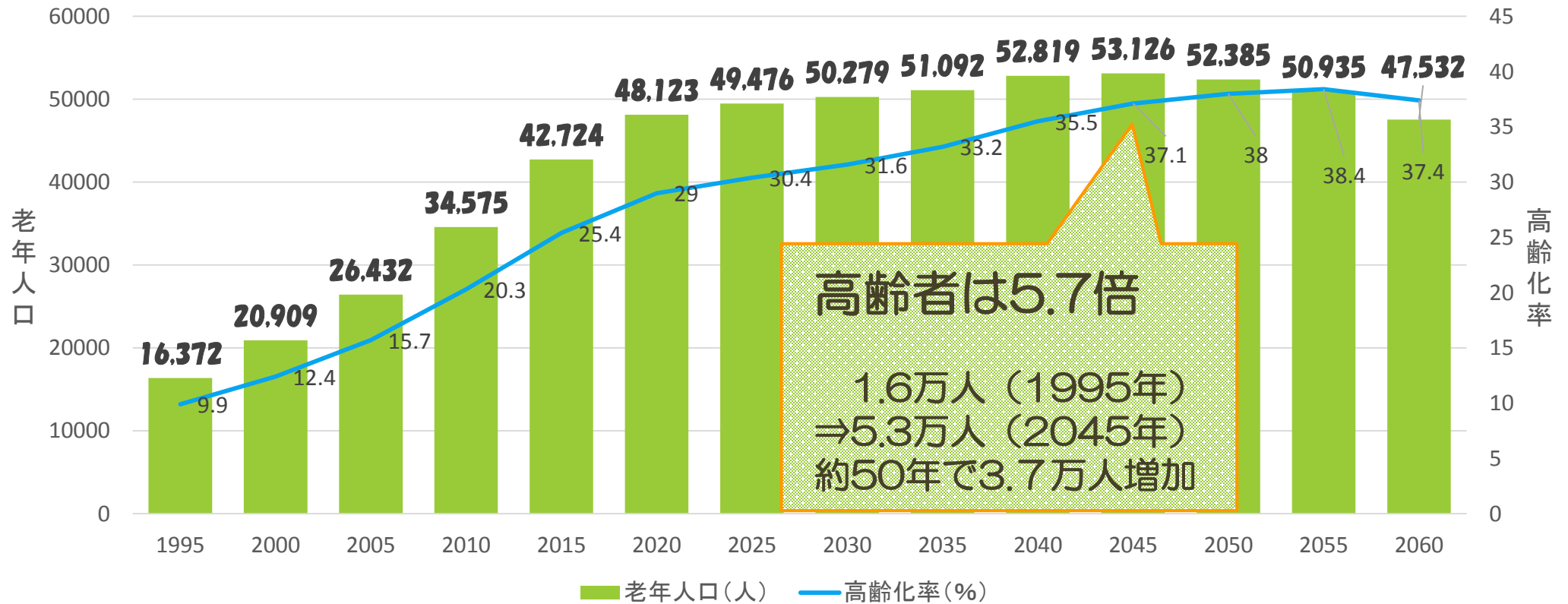
1 はじめに

- 将来人口
- 高齢化率
- 年齢3区分別人口

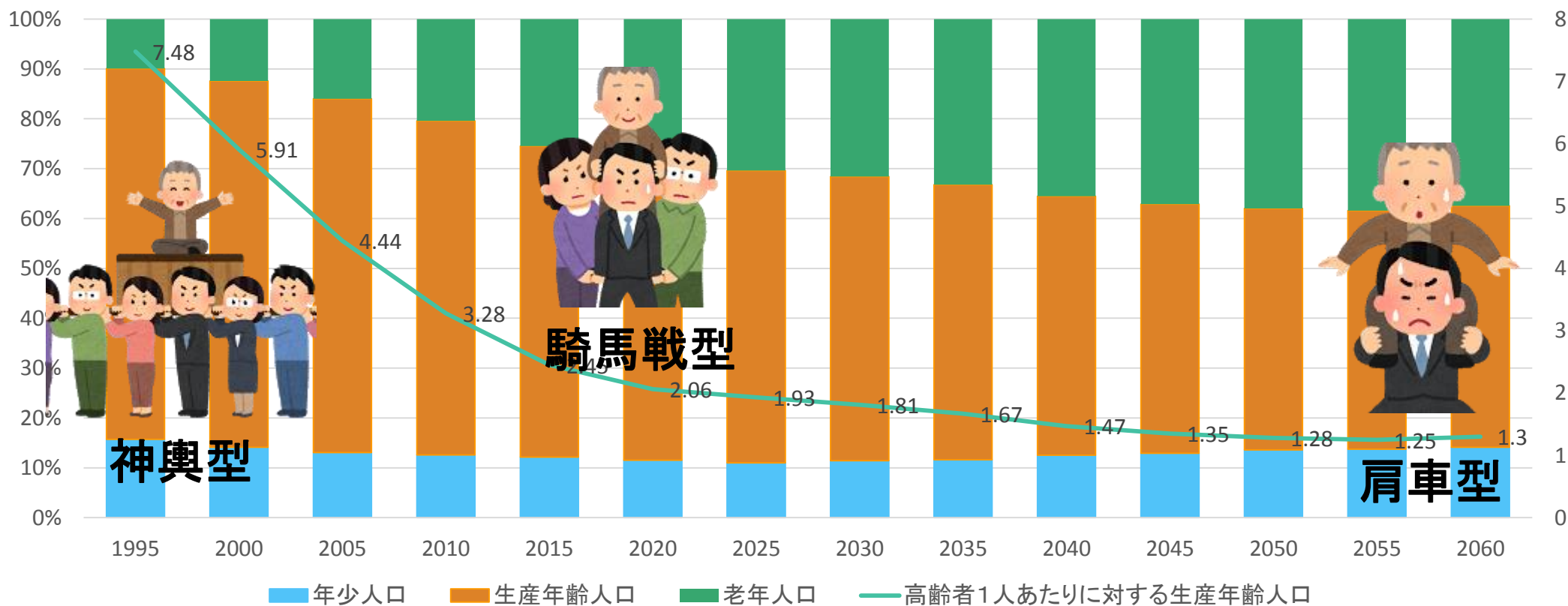
➤ 将来人口



➤ 高齢化率



➤ 年齢3区分別人口



2 現状と課題

- 行政と地域の現状
- まちづくり協働

➤ 行政と地域の現状

—社会問題—
少子高齢化・
核家族化など

右肩上がりの政策
の見直し

—現在の背景—
地域活動の衰退
地域団体の硬直化

行政だけの市民
サービスは限界
が来ている

高齢者1人を1人
で支える時代を迎
える

—課題—
人口増を前提と
した社会

—課題—
地域活動・地域
団体を活性化す
るためのシステ
ムが必要

—課題—
地域課題や社会
的問題に対応で
きない

「共助」を強化
し、お互いに支え
合う地域社会

市民1人ひとりが
まちづくりの主役
になる**市民と行政**
の協働が必要

➤ まちづくり協働



□ “まちづくり協働”とは・・・

「地域で活動している様々な団体、企業、行政といった立場の異なる人たちがそれぞれ得意なことを生かし、協力して地域課題を解決すること」

3 先進事例紹介

- 東京都府中市
- 青森地域創生フォーラム

➤ 東京都府中市

けやき音楽祭 JAZZ in FUCHU

【事業のプロセス】

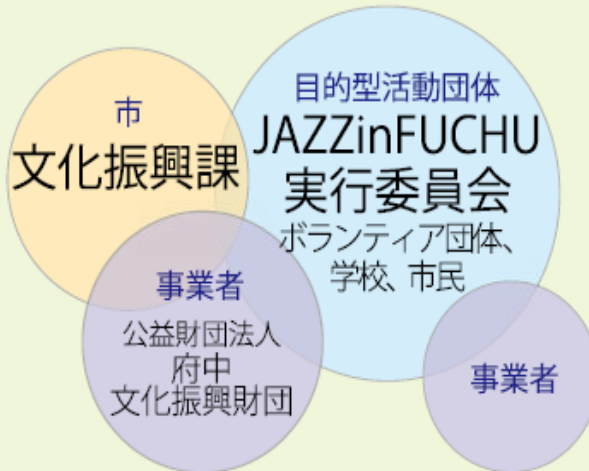
● けやき並木でジャズを楽しもう！

「けやき音楽祭 JAZZ in FUCHU」は、市の中心部に広がるけやき並木で開催されていた「けやきフェスタ」



「けやきフェスタ」がきっかけとなり始まった。当初、けやきフェスタの一部としてジャズ演奏を行っていたが、市制施行 50 周年を機に「けやき並木でジャズを楽しもう」をスローガンに、「けやきフェスタ JAZZ in FUCHU」が開催された。

【協働のカタチ／後援・協賛】



【パートナー】

- イベントの企画・運営、広報活動
- 出演団体の募集・選考

【市】

- 広報活動(広報紙やホームページ掲載、チラシ配付)
- 市施設などの会場提供、安全指導

役割分担

地域と行政の関係

- 行政が指導し過ぎない
- 互いの関係を対等
- 楽しいまちづくり
- 市民の自主性を尊重

➤ 青森地域創生フォーラム

＜内容（まちづくりに必要な考え）＞

- 地域の形成は20代・30代・60代の移住がプラスになるよう、住みよく楽しいまちづくりが必要。
- 「小さな拠点」を確保し、地域活動をサポートするバックアップ体制の充実。
- 行政が主導し過ぎない。地域のことは地域に任せる。

➤ 先進事例から学んだ共通事項

パートナー(市民)

- 自分たちの地域を自ら作り上げる
- 苦勞ではなく、楽しみながらまちづくり

行政

- パートナーの強みと自主性を尊重する
- パートナーのバックアップ体制の充実

共通事項

- 行政が主体になりすぎることなく、パートナーと対等な立場でまちづくり

4 政策提案

- 私たちの提案
- 政策実現のポイント
- 政策実現のステップ
- 政策実現のための財源確保
- まとめ

➤ 私たちの提案

◆ **協働型住民自治**の実現!

“地域まちづくり協働”を通じて、市民と行政
の関係を改革する。

みんなで
まち
づくり!

➤ 政策実現のポイント

✓ 市民・行政職員の意識改革

✓ 市民・行政職員の人材育成

✓ 行政の組織改革

✓ 地域まちづくり協働に係る体制整備

✓ 市民と行政との対話

➤ 政策実現のステップ

✓ ステップ1 組織改革・人材育成

✓ ステップ2 体制整備

✓ ステップ3 協働事業の実施・評価・見直し

✓ ステップ4 政策提案・事業化

✓ ステップ1 組織改革・人材育成

1

「市各課に担当を配置、行政組織の改革」

2

「市民・行政職員の研修」

3

「市民と行政職員との対話、問題の共有」

組織改革！



✓ ステップ2 体制整備

4

「小学校区ごとに地域活動拠点を整備」

5

「地域まちづくりに係る条例の整備」

6

「地域まちづくり協働都市宣言」

7

「第3者組織、協働推進協議会の開設」



✓ ステップ3 協働事業の実施・評価・見直し

8

「“長期継続型”の市民提案型協働事業の新設」

9

「協働事業の実施・評価」

10

「優良事業等の紹介と啓発、表彰」



✓ ステップ4 政策提案・事業化

11

「地域協働組織の設置」

12

「地域まちづくりワークショップ」

13

「地域による政策提案の事業化」



➤ 政策実現のための財源確保

✓ 「地元買い物運動」の展開

✓ ふるさと納税の活用

✓ クラウドファンディング補助制度の活用

✓ 地域通貨の創設

✓ 「地元買い物運動」の展開

✓ ふるさと納税の活用

- 地元での「買い物運動」を展開し、市外への利益流出を減らす。
- ふるさと納税の「寄付金の使途」で政策への直接寄付を募る。「**地域まちづくり協働事業・地域政策提案に関する事業**」

※ 平成28年度 ふるさと納税寄付金額（実績）
2億3127万1896円



✓ クラウドファンディング補助制度の活用

- 地域が提案した事業について、実現すべき内容であるが、市の予算上限等により実現できない場合に、クラウドファンディングの**手数料を補助**し、地域団体が自ら資金を調達する。

□ “クラウドファンディング補助制度” とは・・・

インターネットを利用して支援を呼びかけ、不特定多数の人から資金を集める新しい手法。仲介業者に手数料を収め、事業をプレゼンテーションし、「資金を提供してもよい」という人が目標に達した場合に資金が拠出され、事業が実現する。

✓ 地域通貨の創設

- 地域通貨「地元ポイント（単位：ダノ）」を創設
- 「ご当地WAON（ワオン）制度」を活用
- 1ダノ＝1円とし、地場産の買い物にポイント付与

□ “ご当地WAON” とは・・・

イオンが展開する「地域貢献事業」。買い物金額の0.1%が自治体に寄付される。また、WAONカードは別ポイントを付与することが可能なため、地域通貨の創設が容易である。

➤ まとめ

✓ 市民と行政の協働体制の整備

✓ 特定財源確保による実現・継続力の創出

◆ 市民主導の組織運営・地域づくりによる
“地域まちづくり協働”を通して、

協働型住民自治へ!

みんなで
まち
づくり!

5 おわりに

- 私たちが目指すまちづくり

➤ 私たちが目指すまちづくり

行政職員も地域の一員として、問題を共有しながら“地域まちづくり協働”に参加し、市民と行政の絆を育成しながら「みんなでまちづくり」を目指し、誰もがまちづくりに参加ができる環境を作る。

- ◆ 対話と協働により、市民と行政の夢が実現できるまちづくり
- ◆ 「住みやすい！ 今後も住みたい！」と思える魅力あるまちづくり



ご清聴ありがとうございました

～人がまちをつくる～

Kanmin's Dream

(官民's ドリーム)